

令和元年度 文部科学大臣表彰（教育者表彰）被表彰者

No. 1

| 所属・職名 氏名 年齢 | 主な役職歴 | 在職 年数 | 功績の内容 |
|--|---|---|---|
| 登別市立 緑陽中学校長 にいぬま きよし 新 沼 潔 (60歳) | 全日本中学校長会 副会長 北海道中学校長会 会長 | 中学校教諭 15.00 中学校教頭 8.00 中学校長 11.06 計 34.06 | <p>昭和60年以来、本道の中学校教育に携わり、特に、道徳の授業の研究実践や生徒の心を育む生徒指導に積極的に取り組むとともに、道徳の授業公開や公開研究会等を通じて、取組の成果を広く普及させるなど、本道の道徳教育の充実に大きな役割を果たした。</p> <p>管理職としては、地域と連携を図りながら、津波災害を想定した地域合同避難訓練を実施するなど、危機管理に関する課題の解決に積極的に取り組み、地域や保護者に信頼される学校づくりを推進した。</p> <p>北海道中学校長会事務局次長、会長を歴任し、組織の活性化と後進の育成に手腕を発揮するほか、全日本中学校長会においても副会長の要職を務めるなど、全国と密接な連携を維持しながら、本道の教育振興に大きく寄与している。</p> |
| 札幌市立 豊平小学校長 おおいし こうじ 大 石 幸 志 (59歳) | 全国連合小学校長会 常任理事 北海道小学校長会 会長 | 小学校教諭 24.00 小学校教頭 4.00 小学校長 6.06 計 34.06 | <p>昭和60年以来、本道の小学校教育に携わり、特に、児童が学ぶ楽しさと学びが将来につながることを実感できる授業づくりを目指した研究実践に取り組むとともに、円山動物園と連携した環境教育の体験学習を実践し、広く普及を図るなど、本道の環境教育の充実に大きな役割を果たした。</p> <p>管理職としては、札幌市の「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プラン」研究推進校の指定を受け、学力向上の課題に取り組むとともに、授業公開や実践発表の場において、取組の成果を市内に普及させるなど、学力向上に向けた組織づくりの推進に大きく貢献した。</p> <p>北海道小学校長会の役職を歴任し、活動の中核的な役割を果たすとともに、全国連合小学校長会常任理事として、全国と密接な連携を維持しながら、本道の教育振興に大きく寄与している。</p> |

※ 年齢及び在職年数は、令和元年（2019年）9月30日現在

| 所属・職名 氏名 年齢 | 主な役職歴 | 在職 年数 | 功績の内容 |
|--|---|---|--|
| 北海道 札幌北高等学校長 みやした あきら 宮下 聡 (59歳) | 全国高等学校長協会 ブロック代表理事 北海道高等学校長協会 会長 | 高等学校教諭 17.00 道教委 指導主事 7.00 高等学校教頭 2.00 道教委主幹 2.00 高等専門学校 学生課長 2.00 高等学校長 6.06 計 36.06 | <p>昭和58年以来、本道の高等学校教育及び教育行政に携わり、特に、男女混合の体育授業やチームゲームの分析を通じた生徒の実技評価方法を研究開発するなど、指導の方法や内容、評価方法の工夫改善に努め、保健体育科教育の充実に尽力するとともに、教育行政においては、研修会等における講演や指導・助言を通じて、教職員の資質・能力の向上に尽力したほか、体育の授業や運動部活動中の重大事故を防止する手引として「学校安全推進資料」の作成に携わるなど、本道の学校安全教育の充実に大きな役割を果たした。</p> <p>管理職としては、文部科学省の「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」拠点校の指定を受け、教員一人一人が主体的に学習・指導方法の改善に取り組む体制を構築して、組織的な授業改善を推進するとともに、研究成果を発表して、取組の成果を全道に普及させるなど、生徒の資質・能力の育成に向けた学校経営力の向上に大きく貢献した。</p> <p>全国高等学校長協会ブロック代表理事として、全国と本道とのパイプ役を務めるとともに、北海道高等学校長協会会長として、協会活動の活性化を図るなど、本道の教育振興に大きく寄与している。</p> |

※ 年齢及び在職年数は、令和元年（2019年）9月30日現在